

貯法 室温保存

動物用医薬品

フルオロキノロン系抗菌剤

要指示医薬品 指定医薬品 使用基準

フォーシル®

【本質の説明又は製造方法】

フォーシルは、フルオロキノロン系抗菌薬であるマルボフロキサシンを有効成分とする動物専用の注射用抗菌製剤である。マルボフロキサシンはキノロン系抗菌薬の中でも第3世代に分類される抗菌薬で、前世代の同系統抗菌薬に比べ、抗菌スペクトルは明らかに広く、その効果はグラム陰性菌に留まらず、グラム陽性菌やマイコプラズマに及ぶ。マルボフロキサシンの抗菌活性は、非常に強く、かつ殺菌的であり、第一次選択薬として用いられる抗菌薬に耐性を示す菌株においても、優れた効力を発揮する。

フォーシルは全身症状を伴い末梢血流の停滞した重篤な牛乳房炎に対して静脈内投与により迅速に、かつ高濃度にマルボフロキサシンが全身に移行し治療が可能となる高用量ワンショット製剤である。本剤の用法及び用量は、フルオロキノロン系薬物の特徴である濃度依存的な効果を発揮できるだけでなく、投与の省力化と動物への負担軽減が可能である。

【成分及び分量】

品名	フォーシル
有効成分	マルボフロキサシン
含量	1 mL中160.0mg

【効能又は効果】

有効菌種：

牛：本剤感受性のレンサ球菌、大腸菌、クレブシエラ・ニューモニエ

適応症：第一次選択薬が無効の場合の下記適応症

牛：甚急性及び急性乳房炎

【用法及び用量】

牛：体重1kg当たりマルボフロキサシンとして10mgを単回静脈内投与する。

【使用上の注意】

(基本的事項)

1. 守らなければならないこと

(一般的注意)

- 本剤は要指示医薬品であるので獣医師等の処方箋・指示により使用すること。
- 本剤は効能・効果において定められた適応症の治療にのみ使用すること。
- 本剤は定められた用法・用量を厳守すること。なお、用法・用量に定められた単回の投与であってもそれを反復する投与は避けること。
- 本剤は「使用基準」の定めるところにより使用すること。

注意：本剤は医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律第83条の4の規定に基づき上記の用法及び用量を含めて使用者が遵守すべき基準が定められた動物用医薬品ですので、使用対象動物（牛）について上記の用法及び用量並びに次の使用禁止期間を遵守してください。

牛：食用に供するためにと殺する前3日間又は、食用に供するために搾乳する前48時間

(取扱い及び廃棄のための注意)

- 小児の手の届かないところに保管すること。
- 注射器具は滅菌又は煮沸消毒されたものを使用すること。薬剤により消毒をした器具又は他の薬剤に使用した器具は使用しないこと（ガス滅菌によるものを除く。）。なお、乾熱、高圧蒸気滅菌又は煮沸消毒等を行った場合は、室温まで冷えたものを使用すること。
- 使用済みの容器は、地方公共団体条例等に従い処分すること。
- 本剤を廃棄する際は、環境や水系を汚染しないように注意し、地方公共団体条例等に従い処分すること。
- 使用済みの注射針は、針回収用の専用容器に入れること。針回収用の容器の廃棄は、産業廃棄物収集運搬業及び産業廃棄物処分業の許可を有した業者に委託すること。

2. 使用に際して気を付けること

(使用者に対する注意)

- ・誤って注射された者は、直ちに医師の診察を受けること。

(牛に関する注意)

- ・本剤の使用に当たっては対象動物の状態を良く観察して慎重に投与すること。
- ・副作用が認められた場合には、速やかに獣医師の診察を受けること。
- ・フルオロキノロンは、関節症を誘発することが知られている。若齢牛を用いた筋肉内投与による安全性試験で関節軟骨の病変が本剤を3日間投与後に観察されている。

(取扱い上の注意)

- ・開封後28日以内に使用すること。

(専門的事項)

①重要な基本的注意

- ・本剤は第一次選択薬が無効である症例に限り使用すること。
- ・本剤の使用に当たっては、耐性菌の発現等を防ぐため、原則として感受性を確認し、適応症の治療上必要な最小限の投与に止めること。また、可能な限り原因菌が有効菌種であることを確認した後に投与すること。

②相互作用

- ・本剤の類似化合物で非ステロイド性消炎鎮痛剤との併用により、まれに痙攣が発現するとの報告がある。

③その他の注意

- ・本剤は、ナリジクス酸高度耐性株に対して効力を示すが、フルオロキノロン高度耐性株に対しては効力を示さない。

【薬理学的情報等】

本剤を静脈内投与した時のマルボフロキサシン薬物動態パラメーター

(血漿中)

C_0 ($\mu\text{g/mL}$) 32.48 ± 10.49

$T_{1/2}$ (h) 13.61 ± 2.17

AUC_{INF} ($\mu\text{g} \cdot \text{h/mL}$) 48.30 ± 4.51

(乳汁中)

C_{max} ($\mu\text{g/mL}$) 5.292 ± 1.61

T_{max} (h) 2.20 ± 1.03

AUC ($\mu\text{g} \cdot \text{h/mL}$) 34.87 ± 6.28

【引用文献】

フォーシル製造販売承認申請資料

【包装】

50mL 1本入

【投与量早見表】

体重 (kg)	注射液量 (mL)
100	6.25
200	12.5
300	18.75
400	25
500	31.25
600	37.5
700	43.75
800	50

【製品情報お問い合わせ先】

明治アニマルヘルス株式会社 営業部

〒860-0083

熊本市北区大雀一丁目6番1号

TEL: 096(345)6505

FAX: 096(345)7879

<https://www.vet.meiji.com/>

製造販売元

明治アニマルヘルス株式会社

東京都中央区京橋 2-4-16

製造元



獣医師、薬剤師等の医薬関係者は、本剤による副作用などによると疑われる疾病、障害若しくは死亡の発生又は本剤の使用によるものと疑われる感染症の発症に関する事項を知った場合において、保健衛生上の危害の発生又は拡大を防止するために必要があると認めるときは、上記【製品情報お問い合わせ先】に連絡するとともに、農林水産省動物医薬品検査所 (<https://www.maff.go.jp/nval/iyakutou/fukusayo/sousa/index.html>) にも報告をお願いします。